

地域の特性と発展の方向性

■地域の特性

1	上信越自動車道上田菅平インターを中心とした、上田市の玄関口
2	神川兩岸の台地には、水稲、果樹栽培を中心とした農地が広がる
3	砥石米山城跡、矢沢城跡などの歴史資源、神川、太郎山、稲倉棚田などの自然資源を有する
4	神科地域では住宅や事業所が増加し都市的利用が拡大傾向、豊殿地域では貴重な交通機関の循環バスを地域自ら運営

■発展の方向性

〈まちづくりの基本的方向性〉

1	神川の緑豊かな水辺空間をはじめ里山や田園空間など、かけがえのない自然環境を大切に保全し、まちづくりへの活用を目指します。
2	広域交通の結節点である上田菅平インターを上田市の玄関口として、史跡や田園、自然資源など地域資源の連携と活用により産業・観光振興や地域間交流の促進を進めます。
3	良好な田園居住環境の形成を図りながら、道路・公共交通など交通環境整備を進めて、子どもから高齢者まで安心して快適に暮らせる住みよいまちづくりを目指します。

〈取り組みの方向性〉

取り組みの内容	視点・要素
① 地域の交通ネットワークの整備促進	・ 国道144号、国道18号バイパスの整備
	・ 県道下原大屋停車場線、小諸上田線・矢沢真田線の改良促進
	・ 地域内道路について、狭隘・危険箇所、大雪や小中学生の通学路の歩道に留意して整備
② 地域の公共交通と、将来に向けた地域循環バス等新たな地域内交通の充実	・ 人口の高齢化に対応した公共交通機関の充実
	・ 豊殿地域で自主運営している循環バスの充実と支援
	・ 地域内交通の将来にわたる維持と、交通体系の見直し
③ 地域に根ざした医療・福祉の充実と地域内ボランティア活動の充実	・ 地域内の福祉施設や医療施設との連携
	・ 地域住民を相互に支えるボランティア活動体制の構築
	・ 高度医療施設、緊急医療体制の拡充
	・ 要支援者・高齢者のためのマップや仕組みの構築と運用の充実
④ 神川河川流域の保全整備	・ 豊かな自然環境をもたらす神川の保全と災害に強い護岸整備
	・ 河川空間を保全し、自然に親しめる環境の維持
⑤ 地域の子どもは地域で育てる活動の推進	・ 将来を担う子どもを家庭・地域・学校が連携して地域全体で子どもを育てる活動を推進
	・ 地域の育成会のあり方の検討
	・ 学校と地域住民の協働による学校づくりの推進
	・ 地域の声を取り入れた学校建設の推進
⑥ 地域の農業振興と地域内の財産・資源の活用	・ 適切な農地の維持管理を行いながら、優良農地の保全と荒廃農地の防止・農業後継者の育成や新規就農者の条件整備
	・ 滞在型観光や都市住民に農業体験や収穫の喜びをもたらすクライン・ガルテンの推進
	・ 地域の財産である砥石米山城跡、矢沢城跡、稲倉棚田、伊勢崎城跡、矢花古墳群、岩門城跡などを再認識・再発見し、広く発信
⑦ 市民の森・わしば山荘の利用促進	・ 市民の森公園の広域的利用を促進
	・ 市民の森公園の計画的整備・活性化